

ナミビアだより

Mpandu(パンドウ) インタラ・コンバインド・スクール

2018年度1次隊 青年海外 協力隊 酒井 嗣祐

日本は冬ですね。ナミビアは夏でとっても暑いです。

今回のナミビアだよりでは、8月に行われたオングウェディバ・トレード・フェア（オングウェディバという町でいろいろな国の文化や製品などを交流する場）について紹介します。

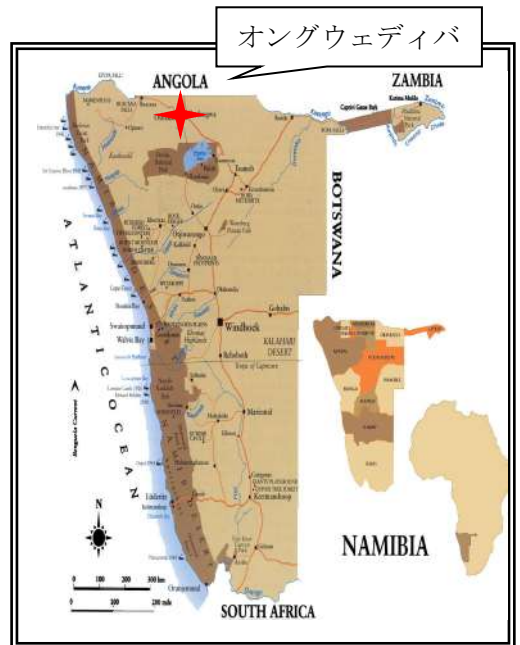
酒井先生も参加し、日本のことをたくさんの外国の方々に紹介しました。

☆ナミビア紹介③オングウェディバ [Ongwediva]

オングウェディバ[Ongwadiva]はナミビアの北部にあります。先生の住んでいるインタラからは約400km（車で6時間）ほど離れています。

8月には、ナミビアやアフリカの国からたくさんの会社がオングウェディバに集まり、それぞれの商品や活動などを紹介します。

酒井先生たちは日本の伝統的な文化や遊びなどについて紹介し、多くの方に日本のことを知ってもらいました。



◎会場の様子



テントを立てて、いろいろな日本の遊びが体験できる場所を作りました。13名のボランティアの仲間と協力して、3日間の活動を終わりました。写真のようにたくさんのお客さんが来てくれました。

かつどう ようす
◎活動の様子



いっしょに凧を作り、空に飛ばしました。



日本の曲をギターで演奏しました。



日本のことや、2020年のオリンピックについても紹介しました。



筆で自分の名前を書きました。外国の方にとって漢字はとっても難しいようです。字を書いた紙を大事に持ち帰っていました。



竹とんぼを飛ばすことに挑戦中。空飛ぶおもちゃに子ども達も夢中でした。



空手の経験者の方が動き方を教えました。見よう見真似で練習しています。



けん玉は大人も子どもも大好きでした。



着物の着付けを行いました。女性は大喜びです。



ポケモンは外国でも人気です。「ピカチュウ」は世界語ですね。



日本といえば、「さむらい」か「にんじゃ」です。二人のさむらいに会いました。先生も着てみました。

